

平成24年度 決算報告書

(様式2-1)

平成24年度 決算報告書

国立大学法人鹿屋体育大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,477	1,430	△47	(注1)
施設整備費補助金	126	126	—	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	—	12	12	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	21	21	—	
自己収入	565	563	△2	
授業料、入学料及び検定料収入	517	513	△4	(注3)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	48	51	2	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	37	62	25	(注5)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	46	28	△18	(注6)
計	2,273	2,243	△30	
支出				
業務費	2,089	1,875	△214	
教育研究経費	2,089	1,875	△214	(注7)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	147	147	—	
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	—	5	5	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	37	84	46	(注9)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	2,273	2,111	△162	
収入-支出	—	133	133	

※記載金額は百万円単位とし、表示単位未満は四捨五入して表示

○ 予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、給与特例法の適用等により、決算額が47百万円少額となっています。

(注2) 補助金等収入については、補助金等の獲得に努めたことから12百万円多額となっています。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として入学料免除等の増により4百万円少額となっています。

(注4) 雑収入については、消費税の還付による収入等があったため、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。

(注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が25百万円多額となっています。

(注6) 目的積立金取崩については、事業計画の変更により予算額に比して決算額が18百万円少額となっています。

(注7) 教育研究経費については、退職手当支給者数の減及び経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が214百万円少額となっています。

(注8) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。

(注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が46百万円多額となっています。